

## ごあいさつ



山口県高等学校体育連盟

会長 古川 幸隆

第75回山口県高等学校総合体育大会が、6月1日から3日までの3日間を中心に、西京高等学校3年 藤山 望さんの作品「走り出せ 栄光の道 最高の夏」のスローガンの下、盛大に開催できますことを大変うれしく思います。

この大会は、31競技に県下78校、約8,000人の高校生が覇権をかけて競う、山口県最大の高校スポーツの祭典です。大会の勝者の多くが高校生アスリートの夢舞台でもあるインターハイへの出場権を得るものであり、この大会を目標に各選手・チームは、これまで練習を重ね、競技力を高めてきたと思います。選手の皆さんが、これまでの練習の成果を十分に発揮されることを願うとともに、一人ひとりが高校生らしい、はつらつとしたプレーを展開し、精一杯の青春を感じてもらいたいと思います。

さて、昨年度は「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」が北海道を中心に開催されました。山口県からも29競技、473名の選手が参加し、女子バドミントンの団体3連覇、男子弓道、女子ヨット420級とコンバインドで優勝、また個人競技では男子卓球と女子バドミントンで優勝するなど、14競技28種目で入賞を果たしました。このような素晴らしい成績が残せたのは各専門部の指導者や関係者の方々のそれまでの指導の賜物であり、改めて関係各位の皆様にお礼を申し上げます。

今年度もインターハイ出場をかけて、これから県内各地で熱戦が繰り広げられます。特に、今大会から出場選手に負担していただいた大会参加料により暑熱対策の徹底を図るなど、より一層安心・安全な大会運営に努めていきたいと考えておりますので、御理解と御協力のほど、よろしく願いいたします。

結びになりますが、本年度も共催していただいた山口新聞社様をはじめ、大会の開催に御尽力いただいたすべての関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げ、あいさつといたします。